図書館だより

10月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

○印 休館日
月曜日・祝日（10日）
月末館内整理日（31日）

雁鳴くや秋たゞなかの読書の灯　蛇笏

雁は、がんまたはかりがねとも言う。十月はじめごろ北方から渡来し、翌春三月まで止まる。体が肥っていて頸が長く尾は短い。
（『最新俳句歳時記』より）
『ホンのムシってどんなムシ!?』を標語に今年は、第五十回・読書週間を迎えます。期間は、例年同様十月二十七日から十一月九日までです。言うまでもなく活字の世界は、文化のみなもとです。図書館を多いに活用して、秋の夜長を活字の世界で堪能してください。

今月の新刊図書案内

＊一般図書

パソコンがあっという間にわかる本　山田祥平
あの本にもう一度　吉原敦子
EQ―こころの知能指数　ダニエル・ゴールマン
生きがいの創造　飯田史彦
超「週末生活」術　野村正樹
生きる喜び　高瀬広居
サムライたちの小遣帳　神坂次郎
干支から見た日本史　邦光史郎
縄文の記憶　室井光広
教科書が教えない歴史　藤岡信勝
ナマヨミの甲斐史をゆく　斎藤典男
山梨の温泉　山梨日日新聞社
日本を殺す気か！　井沢元彦
オーストラリア人物語　大津彬裕
これが沖縄の米軍だ　石川真生
銃社会アメリカのディレンマ　丸田　隆

マイホームを買うときの基礎知識　いちのせかつみ
「アダルト・チルドレン」完全理解　信田さよ子
豊かな生を求めて　大越俊夫
中国サル学紀行　和田一雄
恐怖の食中毒菌　O―157　法研
中高年の生き生きウォーキング　日本放送出版協会
親子で覗く最先端　中野不二男
薬害を追う記者たち　毎日新聞大阪医療取材班
健康に暮らせる住まい　住宅新報社
メイド・イン・にっぽん物語　武内孝夫
農協大破産　土門　剛
きのこ狩り入門　山と渓谷社
ミレーと出会う　立入正之
バランスのいい文字を書きたい！　木山　稔
版画民家の旅　広長威彦
トットちゃんが出会った子どもたち　田沼武能
TVアニメ青春記　辻　真先
日本語教師になるには　須長千夏
外一九六冊

＊児童図書

はるかインカを訪ねて
ことわざものがたり1年生
科学あそび大図鑑
上野動物園サル山物語
赤ちゃんの誕生
交通の歴史
用寛さん空をとぶ
緑の森の神話
先生のピアノが歌った
人形がかぞえる子もりうた
シャンハイ・ボーイ　チア・リ君
夕ごはんまでの五分間
図書館だいすき
地球が緑になったわけ
キツネのしゃっくり
とおいとおいアフリカの
行ってみたいなハワイ
外九一冊

心の健康シリーズ（42）

子どもを伸ばす一言 ダメにする一言集 No.3

子どもの叱り方はむずかしいものです。特に忙しいお母さんの場合、心にゆとりがないので、つい感情的になりがちです。今月も叱り方について書いてみましたので参考にして、自分を見つめてみてください。

「お兄ちゃんでしょ。どうして妹をいじめるの、泣いてるじゃない」
「お兄ちゃんにいつも可愛がってもらってるでしょ。だったら言うことも聞かなくちゃネ」

家庭という小さな社会で、兄弟は第一の仲間であり、ライバルであり、協力者でもあります。その両者の間のさまざまなかっとうの積み重ねで、子どもは鍛えられてゆくのです。お兄ちゃんだけをいつも悪者にしていると、お兄ちゃんは、すっかり、臆病者になってしまいます。

「まったく可愛くないわね、あなたっていう子は。愛嬌のある顔できないの」
「ほら、そんないいお顔できるじゃないの。誰だって笑顔が一番きれいなのよ」

本人の努力ではどうにもならないことを叱ったり、イヤミを言ったりすることはタブー。大好きなお母さんに、チビ、ブスなど容姿に関して言われると、それだけで子どもは本当に劣等感を持ってしまいます。

「ダメだって言っているでしょ。何度言えば分かるの、しつっこい子は大嫌いよ」
「ダメなことは（ものは）ダメです。」

子どもには言えない複雑な事情があったり、両親の約束ごとだったりする時は「ガンコオヤジ」の様に毅然とした態度できっぱり断ることも必要です。

「言うことを聞かないなら、お母さん、もうあなたには何もしてやらないからね」
「いつも言っていることでしょ。だったら、きちんと守りなさい」
「～してやらない」式の叱り方はよく、お母さんが言う言葉ですが「取り引き」や「おどし」によって、言うことを聞かせるのでは、本当に身についた躾にはなりません。

「いつから親に向かってそんな口をきくようになったの!!情けないわ、もう」
「あら、あなたもいつの間にか、ずい分大人になったのね」

中学校へ入学する頃から、そろそろ反抗期にさしかかります。これは誰にも訪れる現象ですから、親は慌ててはいけません。むしろ反抗期を上手に卒業させ、大人への階段へのぼらせることが大切です。

いじめ防止特別教育相談開設

月・木・週2日
場　所　文化会館内
　　都留市教育研修センター
時　間　毎週　月、木
　　午前9時～午後4時30分
○電話による相談にも応じます。
☎(43)1323　FAX(43)1322
相談、情報の秘密は厳守します。